

若いエネルギーを気力、知力、体力として発露させよ。

郷土の新たな発展のために (※1)

中第 40 回卒 齊藤 浩 (※2)

●東北電力取締役副社長



母校の創立 90 周年を心からお慶び申し上げます。

昭和 12 年の中学入学からでも早や 50 余年、年輪相応お役に立ってきたのか、省みて忸怩たる思いです。

最近相馬港が国際貿易港に昇格したと聞きましたが、港やその周辺の変わりようは全く驚きです。地域躍進の力強い息吹を感じます。

最近の社会経済情勢の変化や技術革新の進展の中で、一方では人間の価値観の多様化

や生活信条の個性化が進み、地域開発も、従来の他力本願型から自立創造型へ、量よりは質の充実への脱皮が叫ばれています。

私どもの東北電力は、地域密着型公益事業として、地域開発への協力をはじめ、すぐれた特性をもつ電気エネルギーの有効活用によって、生活文化の向上や産業の振興にお役に立つことを目指しており、会社での私の担務は正にそのことに直接関わっております。

相馬地域は、その豊かな文化や風土を梃子に、21 世紀に向けて新しい創造的発展が求められています。

若い方々には、その持てるエネルギーを気力、知力、体力として発露させ、郷土の新たな発展のため存分に活躍されるよう心から期待いたします。

●生年月日 大正 13 年 5 月 19 日生

●学 歴 ・昭和 12 年 中村一小卒 ・昭和 17 年 相馬中学卒 ・昭和 19 年 二高 (旧制) 卒

・昭和 19 年～20 年 前橋陸軍予備士官学校 (特別甲種幹部候補生) を経て兵役勤務 ・昭和 23 年 東大・経済卒

●職 歴 ・昭和 23 年 東北配電 (株) 入社 ・昭和 26 年 東北電力 (株) に継承 ・昭和 49 年 岩手支店長

・昭和 50 年 理事営業部長 ・昭和 52 年 取締役営業部長 ・昭和 56 年 常務取締役 ・昭和 62 年 取締役副社長

現在、営業開発本部長並びに地域開発推進協力本部長を委嘱され、また労務部、資材部を夫々統括分担

(※1) 『紅の旗 創立 90 周年記念誌』 〈1988 (昭和 63) 年 9 月 2 日発行〉

「今こそ伝えたい、希望と勇気を」(OB から若駒への熱きメッセージ) より。

(※2) 中村出身。昭和 17 (1942) 年卒。東大 (経)。元東北電力 (株)、元東日本興業 (株)。

(転記&※脚注 村山)